



岡山県マスコット「ももっち」

働き方改革事例集が公開されました！

Pick Up!

全国の学校における

働き方改革事例集 (令和5年3月改訂版)

今回は、文部科学省が令和5年3月にとりまとめ、公開した「全国の学校における働き方改革事例集 (令和5年3月改訂版)」について紹介します。主に追加された項目は次の3つです。



(詳細はこちら)

- 働き方改革チェックシート
- 学校・保護者等間の連絡手段のデジタル化導入のポイント
- 個別事例から見る事務職員による学校の働き方改革

この他にも、「働き方改革通信No.38」でも紹介したように、「明日からできるグループウェア活用法」の中に、欠席連絡のデジタル化なども紹介されており、実際のGoogleフォームのファイル等をダウンロードすることも可能です。



働き方改革チェックシート

学校の働き方改革の推進に向けて、各学校において取組状況を把握するとともに、異なる取組の検討や振り返りに活用できるチェックシートになっています。



※Excelファイルのダウンロードはこちら

① 項目名・内容

② 学校・教師が担う業務に係る3分類

- ①基本的には学校以外が担うべき業務
- ②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務
- ③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務に分類して表示しています。

③ チェック欄

年度当初/途中/年度末の、各取組への対応状況(完了/着手中/未対応)を入力します。エクセル版では、入力した「完了」の数の合計が合計欄に表示されます。

④ 備考

振り返り、検討内容等、自校の状況について記載することができます。

⑤ 取組例

本事例集の該当頁や取組事例に関連する資料へのリンクがある場合に記載しています。

No.	項目	内容 (教育委員会との調整が必要な内容も含みます。)	学校・教師が担う業務に係る3分類	チェック欄		
				年度当初	年度途中	年度末
1	朝の活動	欠席・遅刻連絡等をWebアンケートフォーム等を活用してデジタル化している。	-	未対応	着手中	完了
2	授業	教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しなど、教育課程の編成上の工夫等に関する取組をしている。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務			

備考 (振り返り、検討内容等)	取組例 (文字をクリックすると働き方改革事例集等の該当ページが開きます)
欠席・遅刻連絡から導入を開始、10月より、アンケート、お便りをデジタル化	Webアンケートフォームを活用し、職員室外でも、PCで保護者からの欠席連絡を確認できるようにした。 職員会議を行う日は6限をカットし、短縮授業を実施した。 午前中を5時間制にして、下校時間を早めた。 週3日の5時間制を導入し、教師の放課後の業務時間の確保及び早期退勤を実現した。 校務分掌を、経験者と若手の2人担当とした。 各主任の負担軽減を図るため、その他の業務を他の教師に分散し、負担の公平化を図った。